

メッセージアウトライン 「復活がなかったとしたら…」 2017年4月16日(日)

聖書箇所：Iコリント15：1～20

タイトル：「復活がなかったとしたら…」

テーマ：イエス・キリストの復活は福音の大切な要素の一つである。そして歴史的事実でもある。しかし、復活を否定しようとする人々もたくさんいた。復活を否定することは、神の福音を否定し、神の救いのみわざを否定することになる。イエスは復活された、しかし、もし復活が無かったらという二つの側面から、私たちクリスチャンにとって、このイースターがどれほど意義深いものであるかを確認し、あらためて復活の主に感謝をささげたい。

## 1. 初めに

### ①文脈の確認

- \*福音とはなにか？
- \*パウロは「復活」の歴史的事実を証明しようとしている
- \*コリント教会の中にもいた復活を否定する人々

## 2. 歴史的事実としての「イエス・キリストの復活」

### ①多くの目撃者(15：6～8)

- \*ペンテコステの日のペテロのメッセージ(使徒2：32)
- \*パウロの証言
- \*イエスの復活を目撃した人たち

### ②空になった墓

- \*聖句(マタイ28：6、マルコ16：6、ルカ24：3、ヨハネ20：2、5～8)
- \*ユダヤ人が示す唯一の理由

## 3. 変えられた弟子たち

## 4. 復活の結果

## 5. イエスが復活されなかったとしたら

- ①イエスを信じているということが無意味になる
- ②キリスト教も教会も存在しない、その他

## 6. 結論

- ①クリスチャンの信仰の土台を確認しよう
- ②復活こそクリスチャンの希望